

2024年1月23日

各位

会社名 Kudan 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 項 大雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 中山 紘平
(TEL. 03-4405-1325)

日本のドローンソリューションプロバイダー、 Kudan Lidar SLAM を搭載したドローン製品の販売を決定

日本発でグローバル市場向けに事業を展開するドローンソリューションプロバイダーが、Kudan Lidar SLAM (KdLidar) を採用した製品の販売を決定したことをお知らせいたします。

1. 製品の内容

ドローンを用いた空中からの3次元測量は、効率的かつ低コストな手法として、土木・建築・インフラ業界における需要が拡大しています。しかしながら、SLAM技術を搭載せずLidarのみを使用する従来のドローンを用いた3次元測量では、ドローンが飛行できない環境・GNSS/GPSが届かない環境などにおいて、空中から地上までの連続的なマッピングを行うことができず、これが運用における課題となっていました。

本製品では、当社のSLAM技術を採用することにより、ドローンへの搭載のみならず手持ちでも使用可能なマッピング機器として汎用化することができ、従来の空中からのマッピングに加えて、センサを手持ち機器に移し替えて地上からのマッピングを連続的に行うことを可能としました。これにより、森林・土木現場・市街地など、ドローンだけでは包括的なデジタルマップを地上部分まで作成できなかった環境でも、同一のシステムで効率的な3次元測量が可能となります。

このような先進的な案件では、顧客が要求するハードウェア構成に対して柔軟に統合可能なソフトウェア技術が必要となり、モバイルマッピング向けに商用グレードのSLAMアルゴリズムを提供する当社の技術が採用されました。ドローンを始めとしてモバイルマッピング向けの高度なSLAM技術に対する需要は拡大しており、当社は日本を始め、グローバルにおけるモバイルマッピング製品の普及と高度化に引き続き貢献してまいります。

2. 会社概要

当社と当顧客とは、開発ライセンス販売の取引実績以外に資本関係・人的関係・関連当事者への該当状況はありません。その他の会社概要については、当該会社の意向により現時点では非開示と

することを求められているため記載しておりませんが、当顧客及び製品の詳細については今後開示する予定です。

3. 日程

(1) 製品化公表日	2024年1月23日
(2) 製品発売予定日	2024年春頃

4. 本製品の企業化のために特別に支出する額

新製品の販売開始のための特別な追加支出はなく、主に人件費等による研究開発費となっております。

5. 今後の見通し

本製品リリースによる当社業績への影響は現時点では軽微と見込んでおります。今後の当社業績に与える影響は当製品の販売次第となるため、今後製品販売増等により当社業績への影響が大きくなると見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

【Kudan株式会社について】

Kudan は、人工知覚 (AP) のアルゴリズムを専門とする Deep Tech (ディープテック) の研究開発企業です。人工知覚 (AP) は、人工知能 (AI) と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/jp/>) をご参照ください。

■会社概要

会社名：Kudan株式会社

証券コード：4425 (東証グロース)

代表者：代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)